

### 報道関係各位

## 大塚オーミ陶業 「第7回ものづくり日本大賞」内閣総理大臣賞を受賞

大塚オーミ陶業株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:大杉栄嗣、以下「大塚オーミ陶業」)は、このたび内閣総理大臣表彰「第7回ものづくり日本大賞」にて、伝統技術をベースとした立体的製陶技術を用いた文化財の複製が評価された結果、伝統技術の応用部門にて内閣総理大臣賞を受賞しました。



「ものづくり日本大賞」は、日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく貢献してきたものづくりを着実に継承し、さらに発展させていくため、製造・生産現場の中核を担っている中堅人材や、伝統的・文化的な「技」を支えてきた熟練人材、今後を担う若年人材など、ものづくりの第一線で活躍する各世代のうち、特に優秀と認められる方々を顕彰する制度です。

当社は、1973年の創業以来、大塚グループが掲げる Otsuka-people creating new products for better health worldwide の理念のもと、創造性ある「やきもの」造りを続けています。1980年には、薄くて歪みの少ない堅牢な「大型陶板 (900×3000×20mm)」の開発に世界で初めて成功し、その後も幅広い作品表現技術や立体的な仕上げ技術の開発をおこなってきました。一般的にやきものは、焼成により縮みが発生するほか、ヒビや形の歪みが現れるリスクが生じ、その可能性は作品が大きく、また薄く平たくなるほど高まります。本賞で評価を得た「立体的製陶技術」は、それらの課題を解決するため、新たに大塚オーミ陶業が開発した技術で、2015年に特許を取得しています。

#### 大塚オーミ陶業「立体的製陶技術」の特徴

- ① 重ね焼きしても割れない
- ② 高い寸法精度を保ち、歪みが生じない高精度な形成技術を備える
- ③ 色彩や質感等についても焼成工程で発色する釉薬で狙い通りに仕上げる

本技術を用い、これまで「キトラ古墳壁画(奈良県)\*」、「高野山 金剛峯寺 弘法大師木造坐像(和歌山県)」、日本にいながら西洋名画の原画本来の美術的価値を味わうことができる、大塚グループの「大塚国際美術館(徳島県)」等の公共空間・文化財の複製を行い、半永久的な耐久性を有する新たな記録保存方法として、文化・芸術の伝承に貢献してきました。

大塚オーミ陶業は、これからも「新たなる文化価値を創造し、人々の生活に豊かさと潤いを与える」ことを使命に、やきものの新たな価値創造を続けてまいります。



(左)再現されたキトラ古墳石室内壁



再現されたキトラ古墳石室内壁画部分

\*キトラ古墳壁画の複製では、全体の臨場感や色調、質感の再現を、取り外し前の石室内壁画に限りなく近づけるため、8回以上の焼成を繰り返し、細緻な部分までも忠実に再現した陶板を製作しています。



長岡市馬高遺跡出土「火焰土器」原寸大複製品

## 【会社概要】

■大塚オーミ陶業株式会社(Otsuka Ohmi Ceramics Co., Ltd.)

大塚オーミ陶業株式会社は、大塚ホールディングス株式会社の子会社であり、創造性のある陶板作品の製作を通し、日本国内のみならず世界中の文化財、芸術作品を後世に伝え、人々へ貢献することを目指しています。

設 立 : 1973年(昭和48年)7月14日  
資 本 金 : 3億円  
代 表 者 : 代表取締役社長 大杉栄嗣(おおすぎ えいつぐ)  
本社所在地 : 〒540-0021 大阪市中央区大手通3丁目2番21号  
従 業 員 数 : 58名(2017年12月末日現在)  
事 業 内 容 : 大型陶板 陶板名画 陶壁 レリーフ テラコッタ OTセラミックス  
肖像陶板 サイン陶板 各種設計・デザイン・製作・施工  
U R L : <https://www.ohmi.co.jp>  
過 去 の : 1973年 大型陶板製造技術(財)大倉和親記念財団賞  
主 な 受 賞 歴 : 1989年 日本文化デザイン会議 企業文化デザイン賞  
1993年 (社)日本建築協会 第3回日本建築協会賞  
(社)関西ニュービジネス協議会 第6回NBK大賞  
1995年 (財)日本産業デザイン振興会会長賞  
2003年 (社)日本建築美術工芸協会特別賞

この件に関するお問い合わせは、下記にお願いします。

大塚オーミ陶業株式会社

担当: 富増・村上 E-mail: [otsuka@ohmi.co.jp](mailto:otsuka@ohmi.co.jp)

〒529-1836 滋賀県甲賀市信楽町柞原 926

TEL: 0748-82-3001 FAX: 0748-82-2125